社会資本総合整備計画(第4回変更)

由布市(滞在型・循環型保養温泉地)再構築計画

大分県由布市

令和 2 年 1 月

社会資本総合整備計画

令和2年1月

計画の名称	1　由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画			重点計画の該当	○
計画の期間	平成28年度　～　令和2年度　（5年間）	交付対象	大分県、由布市		

計画の目標

大目標：「湯布院らしさ」を継承するため、早期に解決すべき課題や新たなチャンスを具現化し、観光ブランドとしてより一層の磨きをかけ、官民が一体となってワールドワイドの「由布院ブランド」を構築する。
目標１：「由布観光ブランド」への昇華に向けて、まずは原点に立ち返り、揺るぎない「由布院観光ブランド」の将来に向けた一歩を踏み出すことで、世界的な観光地としての体制を確立する。
目標２：官民連携の新組織「まちづくり観光局（仮称）」の設置に伴い、観光振興策を強化し、賑わい創出や活性化を図り、「住んでよし、訪れて良し」のまちづくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

・年間の観光交流者数４００万人の内、観光交流センター（由布市ツーリスト・インフォメーション・センター）運用初年度から年間観光交流者等の約1.1割の利用を目標とする。
・商店街の賑わい創出や歩道、町並みの環境整備により商店街の魅力をアップさせ、流入者増を図る。
・JR由布院駅周辺の整備事業等により、進入車両の導線を整理・誘導し、駅北側広場前面への車両進入の抑制を図る。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H26当初)	中間目標値 ―	最終目標値 (R2末)	備考
駅や各施設における来訪者の観光案内の問い合わせに対応する件数。	16万人／年	―	43万人／年	
由布見通りにおける歩行者通行者数を測定する（休日12時間通行量）。	(H27当初) 5,750人／日	―	7,200人／日	
JR由布院駅北側広場前面の断面交通量を測定する（休日12時間交通量）。	(H27当初) 2,471台／日	―	1,800台／日	

全体事業費	合計（A＋B＋C＋D）	653百万円	A	646百万円	B	0百万円	C	7百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)＋C))／（A＋B＋C＋D）	2.76%

交付対象事業

A　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	R1	R2	全体事業費（百万円）	備考
A-1	都市再生	一般	由布市	直接	由布市	由布院地区都市再生整備計画事業	情報発信拠点事業　他　90.0ha	由布市	■	■	■	■	■	646	
											合計			646	

B　関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	R1	R2	全体事業費（百万円）	備考
											合計			0	

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	R1	R2	全体事業費（百万円）	備考
C-1	都市再生	一般	由布市	直接	由布市	まちなかモビリティ実験事業	ウォーキングバイシクル(予定)を活用した交通実験	由布市				■	■	7	
											合計			7	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	自動車を使用しない交通実験を行うことにより、由布市由布院観光の課題である自動車交通量の削減が期待できる。	

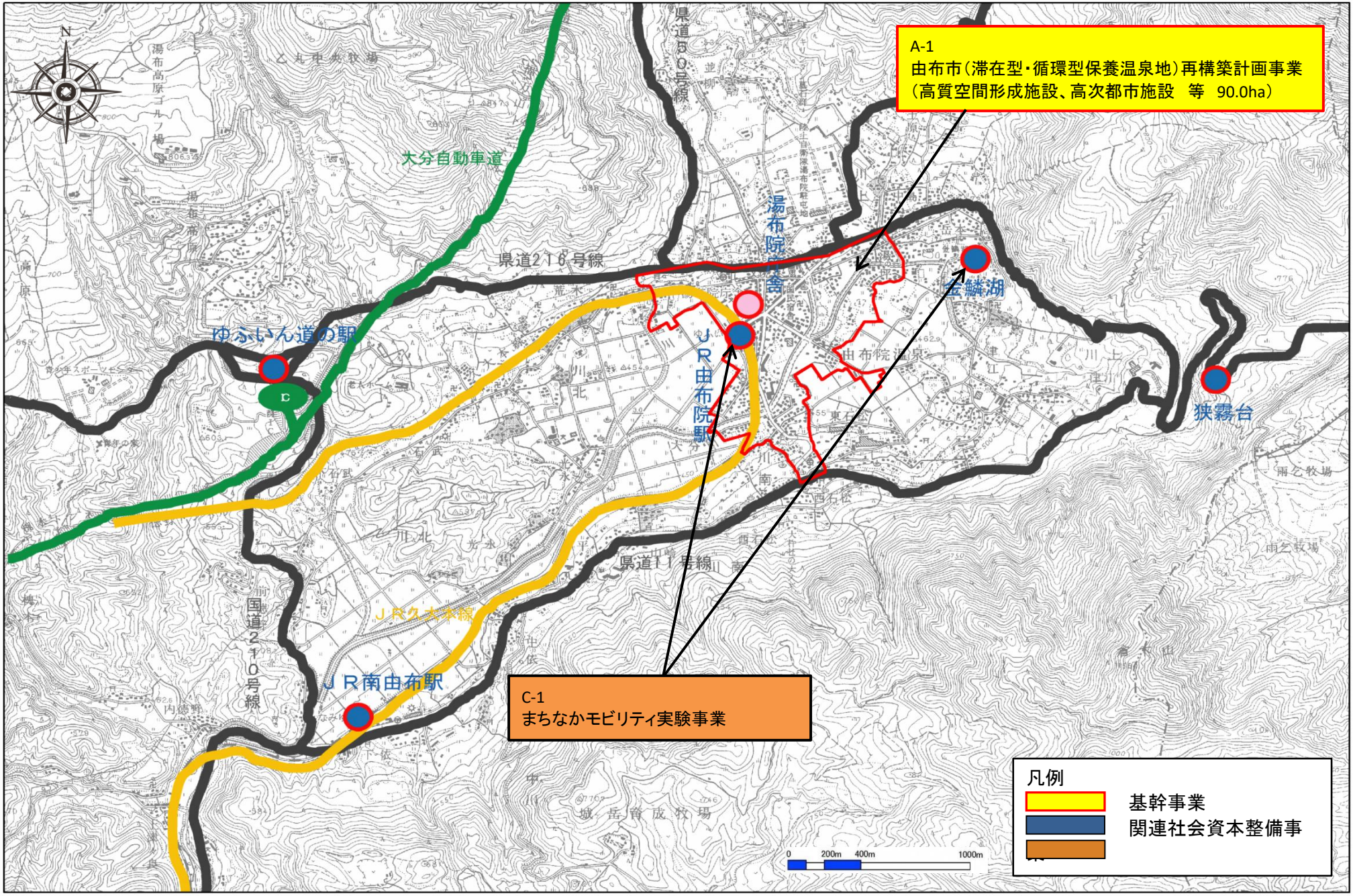
D　社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	R1	R2	全体事業費（百万円）	備考

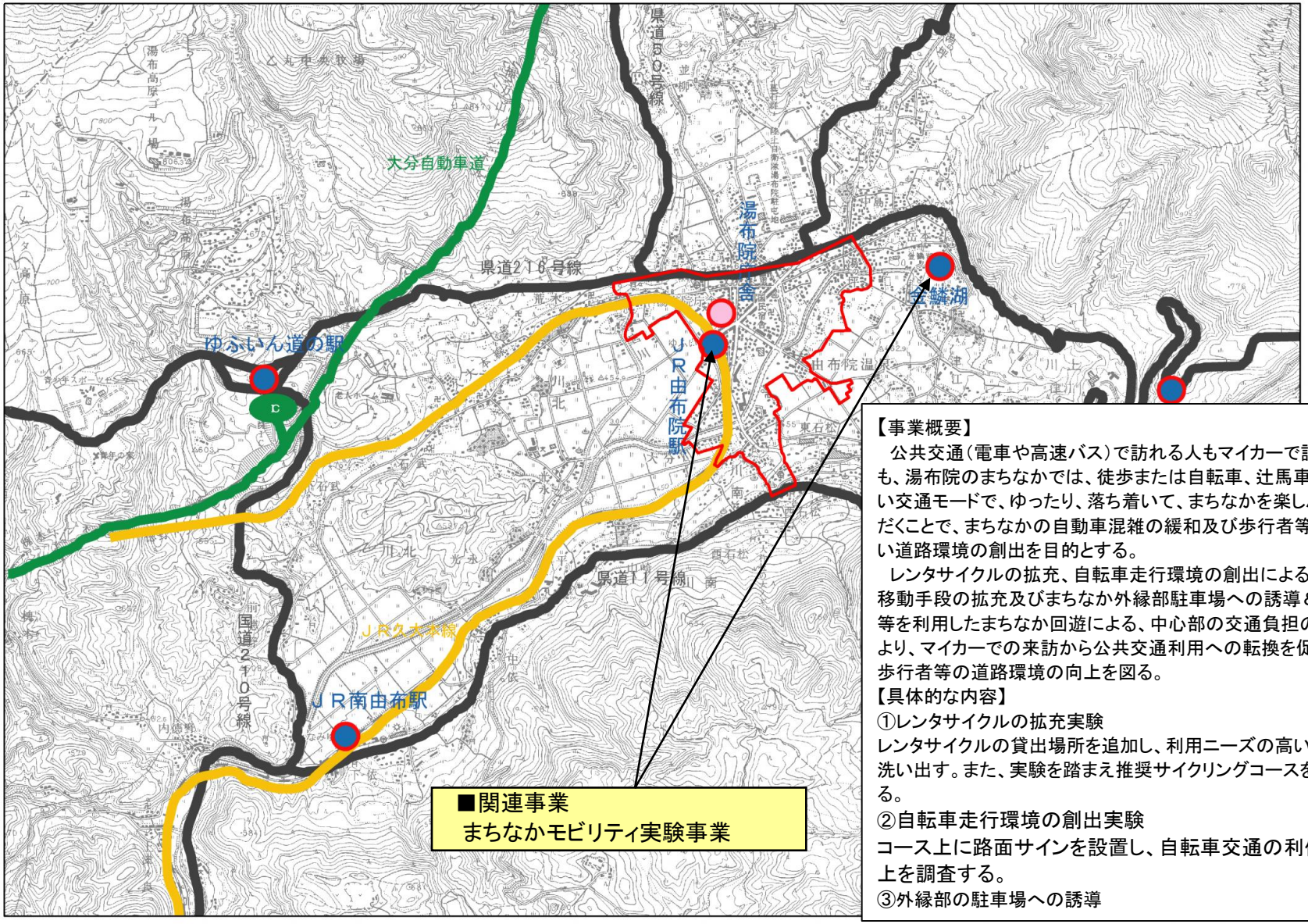
番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

参考図面

計画の名称	由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画		
計画の期間	平成28年度　～　令和2年度　（5年間）	交付対象	大分県　由布市



関連事業	まちなかモビリティ実験事業	平面図



【事業概要】

公共交通（電車や高速バス）で訪れる人もマイカーで訪れる人も、湯布院のまちなかでは、徒歩または自転車、辻馬車などの遅い交通モードで、ゆったり、落ち着いて、まちなかを楽しんでいただくことで、まちなかの自動車混雑の緩和及び歩行者等にやさしい道路環境の創出を目的とする。

レンタサイクルの拡充、自転車走行環境の創出によるまちなか移動手段の拡充及びまちなか外縁部駐車場への誘導＆自転車等を利用したまちなか回遊による、中心部の交通負担の軽減により、マイカーでの来訪から公共交通利用への転換を促す。また、歩行者等の道路環境の向上を図る。

【具体的な内容】

①レンタサイクルの拡充実験

レンタサイクルの貸出場所を追加し、利用ニーズの高い場所を洗い出す。また、実験を踏まえ推奨サイクリングコースを創出する。

②自転車走行環境の創出実験

コース上に路面サインを設置し、自転車交通の利便性向上を調査する。

③外縁部の駐車場への誘導

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H28	H29	H30		
配分額（a）	147	40	27		
計画別流用増△減額（b）	11	0	0		
交付額（c=a+b）	158	40	27		
前年度からの繰越額（d）	0	118	16		
支払済額（e）	40	142	21		
翌年度繰越額（f）	118	16	22		
うち未契約繰越額(g)	6	0	0		
不用額（h ＝ c+d-e-f）	0	0	0		
未契約繰越率+不用率（i ＝（g+h）/（c+d））％	3.79	0	0		
未契約繰越率+不用率が10％を超えている場合その理由					

都市再生整備計画(第4回変更)

由布院地区

ゆふいんちく

大分県　由布市

おおいた　ゆふし

令和 2 年 1 月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大分県	市町村名	由布市（ユフシ）	地区名	由布院地区（ユフインチク）	面積	90.0 ha

計画期間	平成 28 年度 ～ 令和 2 年度	交付期間	平成 28 年度 ～ 令和 2 年度

目標

大目標：「湯布院らしさ」を継承するため、早期に解決すべき課題や新たなチャンスを具現化し、観光ブランドとしてより一層の磨きをかけ、官民が一体となってワールドワイドの「由布院ブランド」を構築する。
目標1：「由布観光ブランド」への昇華に向けて、まずは原点に立ち返り、揺るぎない「由布院観光ブランド」の将来に向けた一歩を踏み出すことで、世界的な観光地としての体制を確立する。
目標2：官民連携の新組織「まちづくり観光局（仮称）」の設置に伴い、観光振興策を強化し、賑わい創出や活性化を図り、「住んでよし、訪れて良し」のまちづくりを目指す。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・本地区は、由布市湯布院地域市街地の中心部に位置し、観光産業を中心とし、宿泊・商業施設や住宅、田園風景等が混在する観光地であり、古くから観光まちづくりに関する住民意識が高い地域である。
・現在、由布院温泉は年間400万人もの観光交流者があるが、由布院駅前を中心に慢性的な交通渋滞や受入環境や情報発信が充実じていないなど課題がある。
・「住む人も訪れる人も癒される“観光まちづくり”」の観点から更なる「滞在型・循環型保養温泉地計画」を推進することとしている。

課題

①観光案内の取扱い件数の増加、対応ニーズの多様化への対応
　・現行の狭小な観光案内所での対応にはスペースを含めてその対応能力に限界があり、また、多言語対応が求められている。
②訪日観光客増加に伴う受入体制の整備
　・観光や緊急情報、案内標識・看板が日本語主体であり、外国人観光客への対応が求められている。
③JR由布院駅・バスセンター利用客の増加に伴う交通誘導の実施
　・JR由布院駅周辺における人・車両の集中による混雑の緩和、歩車分離の整備が求められている。
④湯布院らしさを体験できる観光ルートの情報発信と観光案内表示の整備
　・JR由布院駅前から湯の坪街道への移動ルートに観光客が集中しているため、他の観光素材情報の発信が必要である。
　・田園風景や里山等を楽しむルートの案内が少ないため、わかりやすい情報の提供が必要である。
⑤商店街と連携した景観保全の実施とまちの活性化
　・商店看板や外壁等の景観イメージは観光客へ与える印象が強いため、由布院らしさを表現した、統一的な景観創出対策が必要である。
　・商店街で観光客が楽しめるような工夫・演出等による観光客需要を促進する手段が必要である。
⑥二次交通を活用した他観光地への周遊促進
　・由布院を起点とした県内観光地を結ぶ交通路線の確保および由布院盆地内の渋滞緩和が必要である。
⑦宿泊施設等観光産業における相互連携の強化
　・宿泊施設等観光産業と連携して、訪日観光客への緊急時の情報提供、相談等に対応することで、安心して滞在できる環境を整備する必要がある。
⑧地元関係者・住人を対象とした訪日観光客への理解・意識の醸成
　・災害等緊急時の連絡、避難誘導の環境整備等、一元化された情報による格差のない訪日観光客への対応には、住民一人一人の参加が求められている。

将来ビジョン（中長期）

・由布市総合計画では、「住民一人ひとりが参加して積み上げるまちづくり」、「自然と共に生きるまちづくり」、「地域の自主性を大切にするまちづくり」、「潤いのあるくらしを育てていくまちづくり」、「豊かな育みと健やかに暮らせるまちづくり」、「ゆるやかなペースで成熟するまちづくり」を、由布院地域の整備イメージとして揚げている。本地域は、由布岳や倉木山・福万山といった千m級の山々に囲まれ、清らかな湧水と豊富な温泉、自然景観といった地域資源を生かし、観光施設、医療・福祉施設も充実している。この地域資源を守り育てる精神は脈々と受け継がれており、全国的にも高い評価を受けている「人」と「自然」が調和したまちづくりへの取り組みを継続して実践していくことで、由布市が目指す将来像《地域自治を大切にした　住み良さ日本一のまち》の実現に繋がるものと考える。

目標を定量化する指標

指　標	単 位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光交流センターの利用者数	人／年	来訪者の観光案内等に関する問い合わせ件数	年間400万人の交流者の内初年度に約1割が利用するのを目標	16万件／年	平成26年度	43万人／年	令和2年度
由布見通りの歩行者通行者数	人／日	休日12時間通行量	商店街活性化事業における歩行者の増大効果を指標とする	5,750人／日	平成27年度	7,200人／日	令和2年度
JR由布院駅北側の断面交通量	台／日	休日12時間交通量	駅周辺環境整備事業等における進入車両の抑制効果を指標とする	2,471台／日	平成27年度	1,800台／日	令和2年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
○観光形態の変化に伴う観光客への案内対応 ・国内外観光客が気軽に立ち寄れるこれまでに例のない観光情報発信拠点を整備し、九州内広域周遊観光のハブとしての情報提供及び多言語対応の観光案内所として、きめ細やかで観光交流者が満足する情報を提供することで、安心して滞在できる観光地を整備する。	情報発信拠点事業
○駅前周辺における観光客、住民の安全対策の推進と交流空間の創出 ・駅敷地、隣接地を活用した人と車両動線を整理し、観光客や地元住民が安全で利用しやすいスペースの整備を行う。 ・賑わい創出のために、駅前広場を交流空間としたイベント関係の推進を行う。	駅周辺環境整備事業 商店街連携対策事業
○商店街等商工関係者と連携した景観保全と商店街の活性化 ・景観保全に配慮した街並みづくり（看板類の統一、店舗等の修景）を行い、流入者増を図り、観光客の需要を促進させる。 ・歩行者天国やバザール等の商店街と一体となったイベント等を開催し、賑わいを創出する。	商店街活性化事業
○ゆっくりとした時間の中で由布院らしさを満喫できる動線整備 ・カラー舗装、路面誘導表示、歩道段差解消等の安全対策および観光案内板、トイレ、授乳施設の増設等による周遊環境整備を行う。 ・自然環境を活かした周遊ルートの情報発信や自転車や辻馬車を活用した観光周遊ツールを開発し、回遊性を向上させる。	市民・観光交流ゾーン環境整備事業

その他

様式3　目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	646	交付限度額	258.4	国費率	0.4

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路		市民・観光交流ゾーン環境整備事業 市道駅前中央線	由布市	直	1箇所	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度	38	38	38		38
		商店街連携対策事業 市道由布院駅前線	由布市	直	130m	令和元年度	令和元年度	令和元年度	令和元年度	65	65	65		65
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設														
高質空間形成施設		駅周辺環境整備事業	由布市	直	2,200㎡	平成28年度	令和元年度	平成28年度	令和元年度	119	119	119		119
高次都市施設		情報発信拠点事業	由布市	直	面積520㎡	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度	413	413	413		413
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業														
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										635	635	635	0	635 …A

提案事業（継続地区の場合のみ記載）

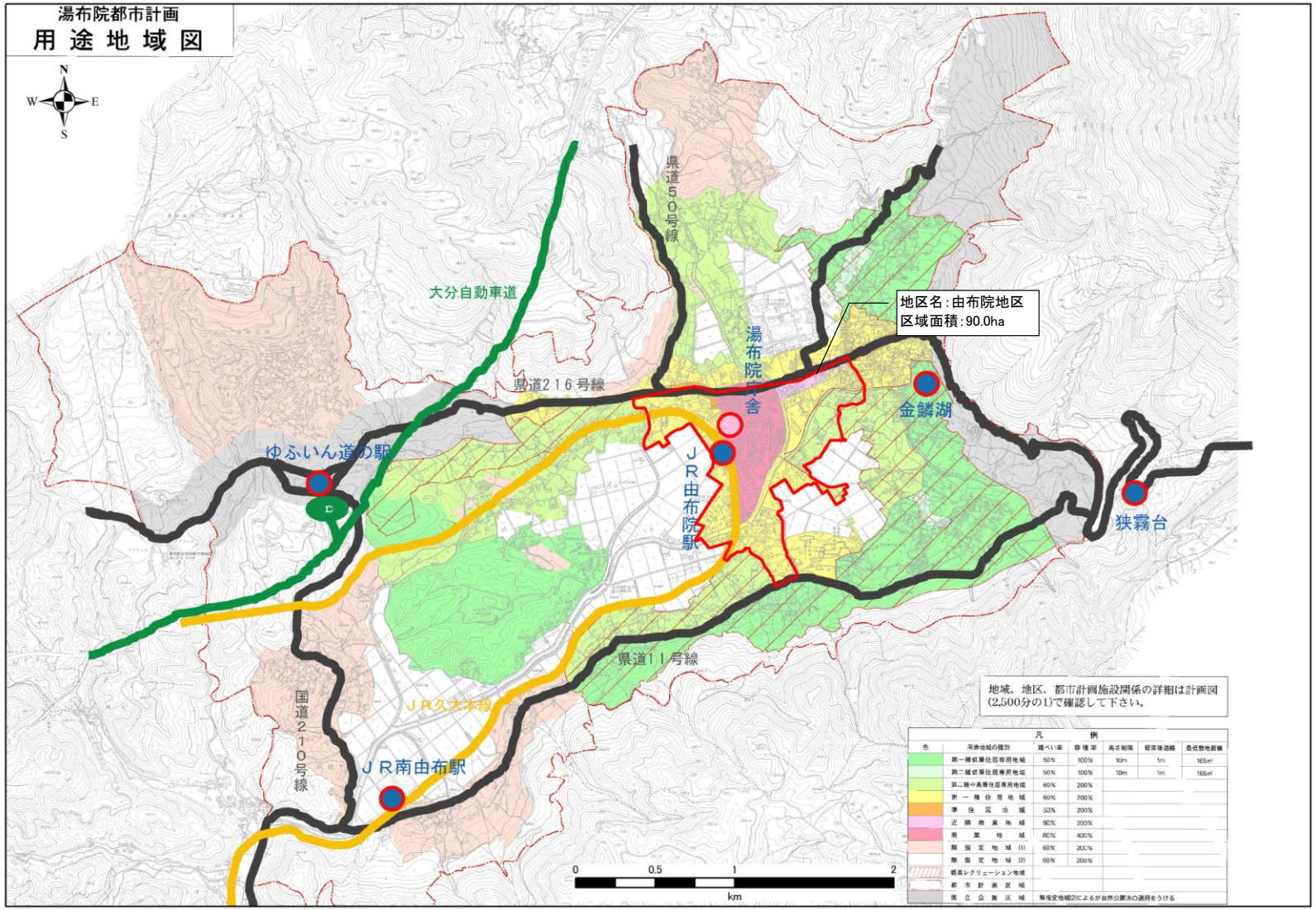
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業		商店街活性化事業	由布市	直	―	令和2年度	令和2年度	令和2年度	令和2年度	6	6	6		6
事業活用調査		事業効果分析事業	由布市	直	―	令和2年度	令和2年度	令和2年度	令和2年度	5	5	5		5
合計										11	11	11	0	11 …B
													合計(A+B)	646

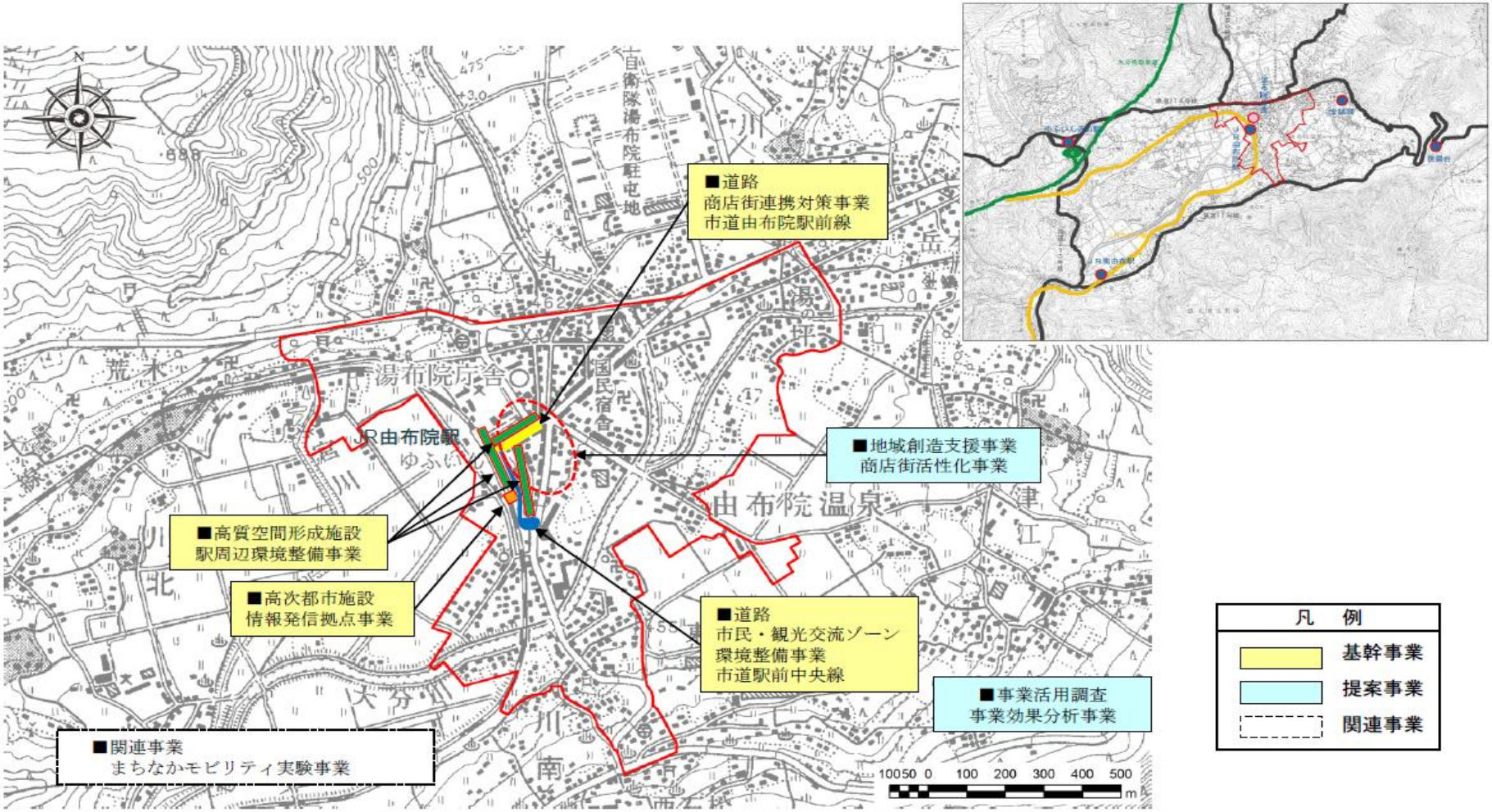
（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに〇）直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
湯布院まちなかモビリティ実験事業	由布院地区	由布市	由布市	―		〇			R1	R2	7
合計											7

都市再生整備計画の区域

由布院地区（大分県由布市）	面積	90.0 ha	区域	



由布院地区（大分県由布市） 整備方針概要図

目標	「住む人も訪れる人も癒される"観光まちづくり"」の観点から更なる「滞在型・循環型保養温泉地計画」を推進することとし本地区における居住環境の改善と観光交流者の増加を目的に整備を行うものとする。	代表的な指標	観光案内所利用客数 （人／年）	16万	（H26年度）	→	43万	（R2年度）
			由布見通りの歩行者通行者数 （人／日）	5,750	（H27年度）	→	7,200	（R2年度）
			JR由布院駅北側の断面交通量 （台／日）	2,471	（H27年度）	→	1,800	（R2年度）